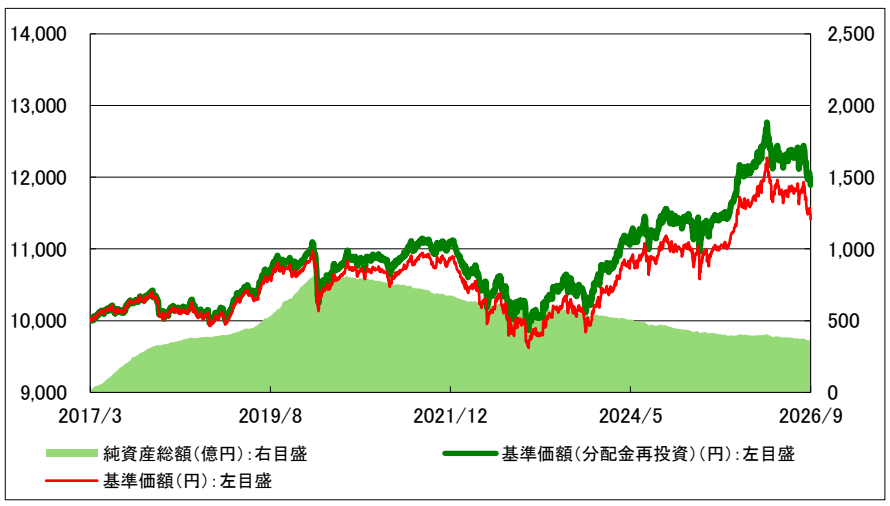
ブレンドシックス
追加型投信／内外／資産複合

当初設定日：2017年3月13日
作成基準日：2026年9月30日

◆ 基準価額・純資産総額の推移



※ データは、当初設定日から作成基準日までを表示しています。
※ 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。
※ 基準価額は、信託報酬控除後です。

◆ 基準価額・純資産総額

	当月末	前月末比
基準価額	11,410 円	－ 470 円
純資産総額	357.50 億円	－ 17.41 億円

◆ 期間別騰落率

	騰落率
1ヵ月	−3.96%
3ヵ月	−3.96%
6ヵ月	−1.88%
1年	1.23%
3年	15.31%
設定来	18.94%

※ ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しており、実際の投資者利回りとは異なります。

◆ 分配の推移(1万口当たり、税引前)

設定来分配金合計額　440　円

決算期	2025年5月	2025年11月	2026年5月
分配金	25　円	25　円	25　円

※ 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

◆ ファンドマネージャーのコメント

◎市況概況(現地通貨ベース)

日本国債市場は下落しました。上旬は円高の進行により輸入物価を通じたインフレ圧力が和らぐとの見方から、金利は低下しました。中旬以降は日銀の利上げに加え、原油高を背景としたインフレ懸念や欧米金利の上昇を受けて、金利は上昇しました。

海外先進国債券市場は下落しました。原油・天然ガス価格の上昇を受けてインフレへの警戒が強まるなか、米欧の中央銀行による利上げや追加引き締め観測を背景に、金利は月を通じて上昇しました。下旬も米欧の景気指標が底堅さを示したことから、金利上昇基調が続きました。

新興国債券市場は下落しました。米金利上昇や原油高が重しとなるなか、中旬までは概ね横ばいで推移しました。その後は原油高や米国の追加利上げ観測を背景とした米金利上昇が投資環境の重しとなり、下旬にかけて軟調に推移しました。

グローバル高配当株式市場は下落しました。米国株式市場は、前半は中東情勢の悪化や原油高、景気減速への警戒から軟調に推移しました。後半はAI関連需要への期待から反発しましたが、長期金利の上昇が重しとなり、月末にかけて再び軟調となりました。欧州株式市場は、前半は中東情勢の緊迫化や原油高によるインフレ懸念、欧州中央銀行(ECB)の追加利上げ観測を背景に軟調に推移しました。後半は中東情勢を巡る不透明感が続くなか、金融引き締めへの警戒が重しとなり、概ね横ばいとなりました。日本株式市場は、前半は中東情勢の悪化や原油高、国債利回りの上昇を背景に下落しました。後半は海外のAI・半導体関連株の上昇や銀行株への物色が支えとなり、堅調に推移しました。

グローバルREIT市場は下落しました。北米REIT市場は、原油高によるインフレ懸念や米連邦準備制度理事会(FRB)の利上げを背景に長期金利が上昇し、月を通じて軟調に推移しました。月後半もインフレ懸念や追加利上げへの警戒が続き、相場の重しとなりました。欧州REIT市場は、前半は原油高によるインフレ懸念やECBの利上げを受けた長期金利の上昇が重しとなり、下落しました。後半も原油価格の高止まりや追加利上げへの警戒が続き、英国の金利低下が支えとなる場面はあったものの、軟調に推移しました。

金価格は下落しました。月を通じて、原油高や米景気の底堅さを背景に米長期金利が上昇し、金利を生まない金の重しとなりました。加えて、FRBの追加利上げ観測やドル高が重しとなり、途中に反発する場面を挟みつつ下落基調で推移しました。

為替市場では、ドル円相場は円高ドル安となりました。上旬は、日銀の利上げ加速観測や円キャリー取引の巻き戻し、米国の早期利上げ観測の後退を背景に円高・ドル安が進みました。中旬以降はドルが持ち直したものの、月間では円高・ドル安となり、外貨建て資産に対してマイナスの影響を与えました。

◎運用経過

2026年9月に資産配分(目標組入率)を変更しました。8月と比較し、推計リスクは、金で上昇し、円ヘッジ外債、高金利海外債券では低下し、その他の資産ではほぼ横ばいとなりました。リスクが低下した円ヘッジ外債、高金利海外債券の配分をそれぞれ0.6%、0.1%引き上げ、リスクが上昇した金の配分を0.3%引き下げました。その他、日本国債、グローバル高配当株式をそれぞれ0.3%、0.1%引き下げ、グローバルREITは8.8%を維持しました。

日本国債:▲0.3%(18.2%→17.9%)、円ヘッジ外債:＋0.6%(34.5%→35.1%)、
高金利海外債券:＋0.1%(17.1%→17.2%)、グローバル高配当株式:▲0.1%(12.7%→12.6%)、
グローバルREIT:0.0%(8.8%→8.8%)、金:▲0.3%(8.7%→8.4%)
(実際の資産配分比率については、時価その他の要因の変動、影響等により、必ずしも上述の数値とは一致しません。)

◎今後の運用方針

今後もブレンドシックス戦略、すなわち各資産のボラティリティと資産間の相関をモニターして各資産の基準価額への影響度合いが概ね均等になるよう資産配分を行います。この戦略により基準価額を安定させるとともに、リスク対比で魅力的な収益の獲得をめざします。

＜当資料の取扱いに関する留意事項＞を必ずお読みください。

ブレンドシックス
追加型投信／内外／資産複合

当初設定日：2017年3月13日
作成基準日：2026年9月30日

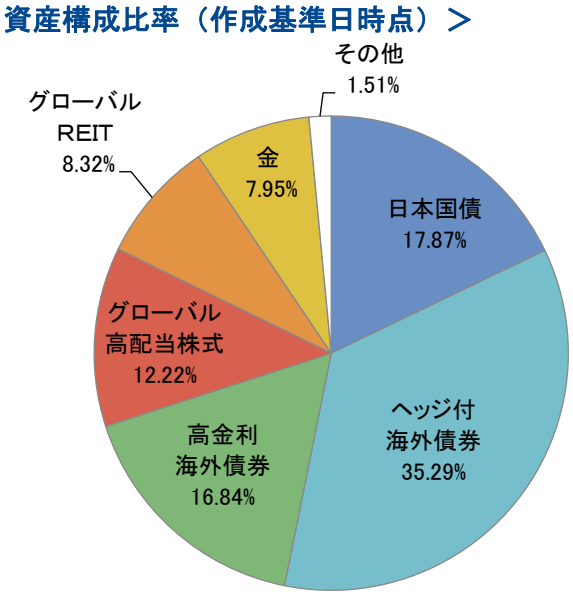
◆ 各資産の寄与額（概算）

前月末基準価額			11,880円
当月お支払いした分配金			0円
要因	日本国債	日本超長期国債ファンド（適格機関投資家向け）	-15円
	ヘッジ付海外債券	高格付先進国ソブリン債券（円ヘッジ）ファンド（適格機関投資家向け）	-92円
	高金利海外債券	高利回りソブリン債券インデックスファンド	-89円
	グローバル高配当株式	グローバル・ハイインカム・エクイティ・ファンド アンヘッジド・クラス	-73円
	グローバルＲＥＩＴ	グローバル・リアルエステート・ファンド（適格機関投資家向け）	-71円
	金	ゴールド・ファンド（適格機関投資家向け）	-121円
	その他		-9円
当月末基準価額			11,410円

※ 寄与額は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。あくまで傾向を知るための目安としてご覧ください。

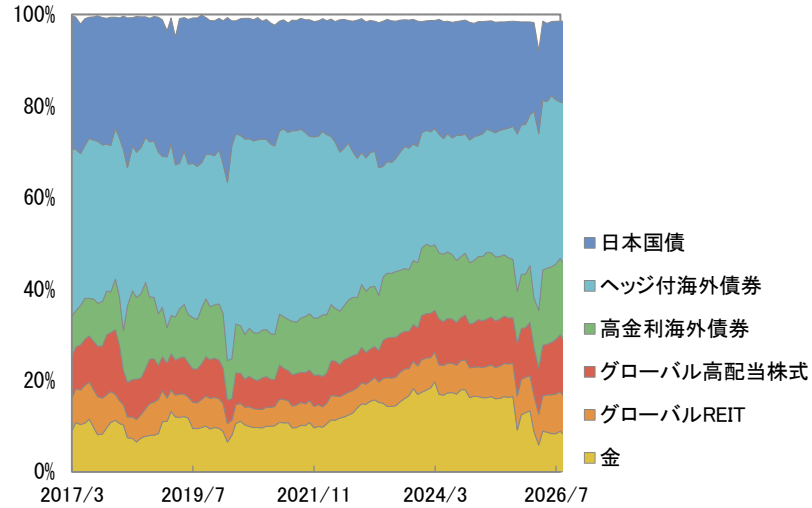
◆ 資産構成比率

＜資産構成比率（作成基準日時点）＞



※ 対純資産総額比です。

＜資産構成比率の推移＞



※ 対純資産総額比です。

◆ 通貨別構成比率上位10通貨（概算）

通　貨　名	比率
日本円	56.1%
米国ドル	24.9%
英国ポンド	4.6%
カナダ・ドル	3.4%
オーストラリア・ドル	2.4%
韓国ウォン	2.1%
メキシコ・ペソ	1.9%
ユーロ	1.9%
インドネシア・ルピア	1.6%
スイス・フラン	0.6%

※ 主要投資対象ファンドの組入比率や各ファンドの委託会社等からの情報（P.3～P.8に掲載している情報等）をもとに計算した概算値です。なお、高格付先進国ソブリン債券（円ヘッジ）ファンド（適格機関投資家向け）の評価額は、すべて日本円とみなして計算しています。

※ 対純資産総額比です。

ブレンドシックス
追加型投信／内外／資産複合

当初設定日： 2017年3月13日
作成基準日： 2026年9月30日

日本超長期国債ファンド（適格機関投資家向け）の資産の状況

◆ 基準価額（指数化）の推移

◆ 期間別騰落率

	ファンド
1ヵ月	-0.73%
3ヵ月	-4.34%
6ヵ月	-6.37%
1年	-14.43%
3年	-28.37%
組入開始来	-31.83%

※ ファンドの騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。

※ 上記グラフは、「日本超長期国債ファンド（適格機関投資家向け）」の当ファンドへの組入開始日を10,000として指数化し、作成基準日までを表示しています。
※ 基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
※ 基準価額は、信託報酬控除後です。

◎ 以下の情報は主要投資対象である「日本超長期国債マザーファンド」について掲載しています。

◆ 特性値

平均最終利回り	3.62%
平均残存年数	19.11年

※ 組入債券部分についての数値です。
※ 平均最終利回りはファンドの運用利回り等を示唆するものではありません。

◆ 債券種類別構成比

種　別	比率
国債	94.88%
その他債券	0.00%

※ 対純資産総額比です。

◆ 残存年数別構成比

残存年数	比率
0～5年	0.00%
5～10年	0.00%
10～15年	26.35%
15～20年	30.24%
20～25年	15.69%
25年以上	22.60%

※ 対純資産総額比です。

◆ 組入上位10銘柄

	銘柄名	比率	残存年数
1	第195回利付国債（20年）	3.95%	19.24年
2	第90回利付国債（30年）	3.65%	29.49年
3	第91回利付国債（30年）	3.47%	29.74年
4	第178回利付国債（20年）	3.04%	14.98年
5	第179回利付国債（20年）	3.01%	15.23年
6	第89回利付国債（30年）	2.76%	29.24年
7	第197回利付国債（20年）	2.69%	19.73年
8	第82回利付国債（30年）	2.66%	27.49年
9	第88回利付国債（30年）	2.65%	28.99年
10	第175回利付国債（20年）	2.61%	14.23年

※ 対純資産総額比です。

※ 「日本超長期国債ファンド（適格機関投資家向け）の資産の状況」は、スカイオーシャン・アセットマネジメントがアモーヴァ・アセットマネジメントからの情報提供にもとづき作成していますが、掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

＜当資料の取扱いに関する留意事項＞を必ずお読みください。

ブレンドシックス
追加型投信／内外／資産複合

当初設定日：2017年3月13日
作成基準日：2026年9月30日

高格付先進国ソブリン債券（円ヘッジ）ファンド（適格機関投資家向け）の資産の状況

◆ 基準価額（指数化）の推移

◆ 期間別騰落率

	ファンド
1ヵ月	−2.24%
3ヵ月	−4.31%
6ヵ月	−1.17%
1年	−3.29%
3年	−1.72%
組入開始来	−16.71%

※ ファンドの騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。

※ 上記グラフは、「高格付先進国ソブリン債券（円ヘッジ）ファンド（適格機関投資家向け）」の当ファンドへの組入開始日を10,000として指数化し、作成基準日までを表示しています。
※ 基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
※ 基準価額は、信託報酬控除後です。

◎ 以下の情報は主要投資対象である「ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド」について掲載しています。

◆ 特性値

平均最終利回り	3.53%
平均残存期間	8.07年

※ 組入債券部分についての数値です。
※ 平均最終利回りはファンドの運用利回り等を示唆するものではありません。

◆ 債券格付別構成比

種　別	比率
AAA	79.71%
AA	20.29%
A以下	0.00%
無格付	0.00%

※ 対組入債券評価額比です。
※ 格付けはムーディーズ社、S&P社、Fitch社の順に優先して適用しています。

◆ 為替ヘッジ

ヘッジ比率	99.72%

※ 対純資産総額比です。

◆ 債券種類別構成比

種　別	比率
国債	71.33%
国際機関債	0.00%
政府保証債・政府機関債	4.91%
その他	16.38%

※ 対純資産総額比です。

◆ 組入上位5カ国

種　別	比率
ニュージーランド	24.78%
シンガポール	22.40%
スウェーデン	18.87%
フィンランド	18.79%
カナダ	7.78%

※ 対純資産総額比です。
※ 国際機関債などは発行通貨ベースで国別に分類して表示しています。

◆ 組入上位10銘柄

	銘柄名	償還日	通貨	格付	比率
1	FINNISH GOVERNMENT	2035/9/15	ユーロ	Aa1	9.65%
2	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	2037/4/15	ニュージーランド・ドル	Aaa	7.71%
3	SWEDISH GOVERNMENT	2033/11/11	スウェーデン・クローナ	Aaa	6.95%
4	SINGAPORE GOVERNMENT	2036/8/1	シンガポール・ドル	Aaa	6.80%
5	SWEDISH GOVERNMENT	2035/5/11	スウェーデン・クローナ	Aaa	6.63%
6	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	2033/4/14	ニュージーランド・ドル	Aaa	6.11%
7	SINGAPORE GOVERNMENT	2034/5/1	シンガポール・ドル	Aaa	6.04%
8	FINNISH GOVERNMENT	2034/9/15	ユーロ	Aa1	5.99%
9	SINGAPORE GOVERNMENT	2035/3/1	シンガポール・ドル	Aaa	5.80%
10	SWEDISH GOVERNMENT	2036/10/15	スウェーデン・クローナ	Aaa	5.30%

※ 対純資産総額比です。

※ 「高格付先進国ソブリン債券（円ヘッジ）ファンド（適格機関投資家向け）の資産の状況」は、スカイオーシャン・アセットマネジメントがアモーヴァ・アセットマネジメントからの情報提供にもとづき作成していますが、掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

＜当資料の取扱いに関する留意事項＞を必ずお読みください。

ブレンドシックス
追加型投信／内外／資産複合

当初設定日： 2017年3月13日
作成基準日： 2026年9月30日

高利回りソブリン債券インデックスファンドの資産の状況

◆ 基準価額（指数化）の推移

◆ 期間別騰落率

	ファンド
1ヵ月	-4.44%
3ヵ月	-3.27%
6ヵ月	-1.03%
1年	4.30%
3年	22.11%
組入開始来	36.98%

※ ファンドの騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。

※ 上記グラフは「高利回りソブリン債券インデックスファンド」の当ファンドへの組入開始日を10,000として指数化し、作成基準日までを表示しています。
※ 基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
※ 基準価額は、信託報酬控除後です。

◎ 以下の内容は作成基準日の前営業日の状況を掲載しています。

◆ 特性値

平均最終利回り	5.46%
平均残存年数	10.34年
平均格付	AA

※ 組入債券部分についての数値です。
※ 平均最終利回りはファンドの運用利回り等を示唆するものではありません。
※ 格付はムーディーズ社、S&P社、Fitch社の順に優先して適用しています。
※ 平均格付とは、基準日時点でファンドが保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、ファンドの信用格付ではありません。

◆ 組入上位5通貨

	通　貨　名	比率
1	米国ドル	20.23%
2	英国ポンド	19.90%
3	カナダ・ドル	14.75%
4	韓国ウォン	12.62%
5	オーストラリア・ドル	11.71%

※ 対純資産総額比です。

◆ 残存年数別構成比

残存年数	比率
1年未満	0.27%
1～3年	24.71%
3～7年	31.23%
7～10年	15.69%
10年以上	27.82%

※ 対純資産総額比です。

※ 「高利回りソブリン債券インデックスファンドの資産の状況」は、スカイオーシャン・アセットマネジメントがアモーヴァ・アセットマネジメントからの情報提供にもとづき作成していますが、掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

＜当資料のお取り扱いにおけるご留意点＞を必ずお読みください。

ブレンドシックス
追加型投信／内外／資産複合

当初設定日：2017年3月13日
作成基準日：2026年9月30日

グローバル・ハイインカム・エクイティ・ファンド アンヘッジド・クラスの資産の状況

◆ 基準価額（指数化）の推移

◆ 期間別騰落率

	ファンド
1ヵ月	−4.97%
3ヵ月	−0.16%
6ヵ月	8.23%
1年	25.18%
3年	66.73%
組入開始来	189.37%

※ ファンドの騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。

※ 上記グラフは、「グローバル・ハイインカム・エクイティ・ファンド アンヘッジド・クラス」の当ファンドへの組入開始日を10,000として指数化し、作成基準日までを表示しています。
※ 基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
※ 基準価額は、信託報酬控除後です。

◎ 以下の内容は作成基準日の前営業日の状況を掲載しています。

◆ 組入上位5通貨

	通　貨　名	比率
1	米国ドル	57.65%
2	ユーロ	12.80%
3	日本円	8.68%
4	英国ポンド	6.65%
5	スイス・フラン	4.93%

※ 対純資産総額比です。

◆ 組入上位5ヵ国

	国　名	比率
1	米国	59.52%
2	日本	7.35%
3	英国	6.50%
4	スイス	5.01%
5	カナダ	3.57%

※ 対組入株式時価総額比です。

◆ 組入上位5業種

	業　種　名	比率
1	ヘルスケア	20.34%
2	生活必需品	15.13%
3	金融	14.04%
4	エネルギー	12.29%
5	資本財・サービス	12.03%

※ 対組入株式時価総額比です。

◆ 特性値

株式配当利回り	3.28%

※ 組入株式部分についての数値です。
※ 株式配当利回りは、ファンドの運用利回り等を示唆するものではありません。

◆ 組入上位10銘柄

	銘　柄　名	国　名	業 種 名	比率
1	Chevron Corporation	米国	エネルギー	2.88%
2	Johnson & Johnson	米国	ヘルスケア	2.78%
3	Texas Instruments Incorporated	米国	情報技術	2.68%
4	Coca-Cola Company	米国	生活必需品	2.54%
5	Shell Plc	英国	エネルギー	2.30%
6	AbbVie, Inc.	米国	ヘルスケア	1.85%
7	Union Pacific Corporation	米国	資本財・サービス	1.78%
8	Verizon Communications Inc.	米国	通信・サービス	1.77%
9	Merck & Co., Inc.	米国	ヘルスケア	1.54%
10	Altria Group, Inc.	米国	生活必需品	1.51%

※ 対組入株式時価総額比です。

※ 「グローバル・ハイインカム・エクイティ・ファンド アンヘッジド・クラスの資産の状況」は、スカイオーシャン・アセットマネジメントがアモーヴァ・アセットマネジメント・UKリミテッドからの情報提供にもとづき作成していますが、掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

ブレンドシックス
追加型投信／内外／資産複合

当初設定日：2017年3月13日
作成基準日：2026年9月30日

グローバル・リアルエステート・ファンド（適格機関投資家向け）の資産の状況

◆ 基準価額（指数化）の推移

◆ 期間別騰落率

	ファンド
1ヵ月	−6.99%
3ヵ月	−9.09%
6ヵ月	6.24%
1年	14.94%
3年	50.31%
組入開始来	131.54%

※ ファンドの騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。

※ 上記グラフは「グローバル・リアルエステート・ファンド（適格機関投資家向け）」の当ファンドへの組入開始日を10,000として指数化し、作成基準日までを表示しています。
※ 基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
※ 基準価額は、信託報酬控除後です。

◎ 以下の情報は主要投資対象としている「世界REITマザーファンド」について掲載しています。

◆ 組入上位5通貨

	通　貨　名	比率
1	米国ドル	78.31%
2	英国ポンド	5.21%
3	カナダ・ドル	4.19%
4	オーストラリア・ドル	3.83%
5	ユーロ	3.80%

※ 対純資産総額比です。

◆ 組入上位5ヵ国

	国　名	比率
1	米国	78.31%
2	英国	5.21%
3	カナダ	4.19%
4	オーストラリア	3.83%
5	日本	2.28%

※ 対純資産総額比です。

◆ セクター別構成比

業　種　名	比率
特化型	25.99%
産業施設（工場等）	17.33%
ヘルスケア	15.44%
住宅（マンション等）	15.07%
小売（商業施設等）	12.54%
分散型	4.71%

※ 対純資産総額比です。

◆ 特性値

予想分配金利回り	4.24%

※ 組入不動産投信部分についての数値です。
※ 予想分配金利回りは、各種情報を基に組入銘柄の予想配当利回りを加重平均して算出した値です。また、ファンドの運用利回り等を示唆するものではありません。

◆ 組入上位10銘柄

	銘　柄　名	国　名	セクター名	比率
1	WELLTOWER INC	米国	ヘルスケア	9.70%
2	EQUINIX INC	米国	特化型	9.49%
3	PROLOGIS INC	米国	産業施設（工場等）	7.39%
4	VIVMARK RESIDENTIAL	米国	住宅（マンション等）	4.34%
5	SIMON PROPERTY GROUP INC	米国	小売（商業施設等）	4.30%
6	PUBLIC STORAGE	米国	特化型	4.08%
7	SABRA HEALTH CARE REIT INC	米国	ヘルスケア	2.63%
8	GAMING AND LEISURE PROPERTIE	米国	特化型	2.45%
9	SUN COMMUNITIES INC	米国	住宅（マンション等）	2.38%
10	AMERICAN HOMES 4 RENT- A	米国	住宅（マンション等）	2.27%

※ 対純資産総額比です。

※ 「グローバル・リアルエステート・ファンド（適格機関投資家向け）の資産の状況」は、スカイオーシャン・アセットマネジメントがアモーヴァ・アセットマネジメントからの情報提供にもとづき作成していますが、掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

ブレンドシックス
追加型投信／内外／資産複合

当初設定日：2017年3月13日
作成基準日：2026年9月30日

ゴールド・ファンド（適格機関投資家向け）の資産の状況

◆ 基準価額（指数化）の推移

◆ 期間別騰落率

	ファンド
1ヵ月	-11.65%
3ヵ月	-1.55%
6ヵ月	-10.26%
1年	15.08%
3年	128.22%
組入開始来	348.57%

※ ファンドの騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。

※ 上記グラフは「ゴールド・ファンド（適格機関投資家向け）」の当ファンドへの組入開始日を10,000として指数化し、作成基準日までを表示しています。

※ 基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
※ 基準価額は、信託報酬控除後です。

◎ 以下の情報は主要投資対象としている「ゴールド・マザーファンド」について掲載しています。

◆ 組入上位5銘柄

	銘 柄 名	通 貨 名	比率
1	SPDR GOLD MINISHARES TRUST-ETF	米国ドル	52.41%
2	ISHARES GOLD TRUST MICRO-ETF	米国ドル	39.63%
3	ISHARES GOLD TRUST-ETF	米国ドル	7.39%
4			
5			

※ 対純資産総額比です。

※ 「ゴールド・ファンド（適格機関投資家向け）の資産の状況」は、スカイオーシャン・アセットマネジメントがアモーヴァ・アセットマネジメントからの情報提供にもとづき作成していますが、掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

＜当資料の取扱いに関する留意事項＞を必ずお読みください。

ブレンドシックス
追加型投信／内外／資産複合

当初設定日：2017年3月13日
作成基準日：2026年9月30日

ファンドの特色

1. 異なる強みを持つ6つの資産に投資します。
2. 基準価額への影響度合いがおおむね均等になるように6つの資産に配分します。
3. 年2回決算をおこない、原則として収益分配をめざします。

投資リスク

《基準価額の変動要因》

- ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。
  したがって、**投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**
- **信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。**
- **投資信託は預貯金とは異なります。**

【株価変動リスク】
株価は、発行者の業績、経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。株価が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。

【金利変動リスク】
債券の価格は、一般的に金利低下（上昇）した場合は値上がり（値下がり）します。また、発行者の財務状況の変化等およびそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。債券価格が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。

【リートの価格変動リスク】
リートの価格は、不動産市況（不動産稼働率、賃貸料、不動産価格等）、金利変動、社会情勢の変化、関係法令・各種規制等の変更、災害等の要因により変動します。また、リートおよびリートの運用会社の業績、財務状況の変化等により価格が変動し、基準価額の変動要因となります。

【金上場投資信託の価格変動リスク】
金上場投信は、連動目標とする金地金価格の変動の影響を受けます。金市場は、金の需給関係、為替・金利の変動、政府の規制・介入、投機家の参入など様々な要因により変動します。金地金の価格が下落した場合、金上場投信の価格は下がり、基準価額の下落要因となります。

【為替変動リスク】
為替相場は、各国の経済状況、政治情勢等の様々な要因により変動します。投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。なお、投資対象ファンドにおいて、外貨建資産について、為替予約を活用し、為替変動リスクの低減をはかる場合がありますが、完全にヘッジすることはできませんので、外貨の為替変動の影響を受ける場合があります。また、為替ヘッジをおこなう通貨の短期金利と円短期金利を比較して、円短期金利の方が低い場合には、当該通貨と円の金利差相当分のコストがかかりますが、さらに需給要因等によっては金利差相当分を上回るコストがかかる場合があることにご留意ください。

【信用リスク】
有価証券の発行体が財政難、経営不振、その他の理由により、利払い、償還金、借入金等をあらかじめ決められた条件で支払うことができなくなった場合、またはそれが予想される場合には、有価証券の価格は下落し、基準価額の下落要因となる可能性があります。

【流動性リスク】
時価総額が小さい、取引量が少ない等流動性が低い市場、あるいは取引規制等の理由から流動性が低下している市場で有価証券等を売買する場合、市場の実勢と大きく乖離した水準で取引されることがあり、その結果、基準価額の下落要因となる可能性があります。

【カントリーリスク】
投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化、外国為替規制、資本規制、税制の変更等の事態が生じた場合、またはそれが予想される場合には、方針に沿った運用が困難になり、基準価額の下落要因となる可能性があります。また、新興国への投資は先進国に比べ、上記のリスクが高まる可能性があります。

※ 基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

《その他の留意点》

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
  分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
  投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ファンドは、大量の換金申込みが発生し短期間で換金代金を手当てする必要が生じた場合や組入資産の主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。
  これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付けが中止・取消となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。

ブレンドシックス
追加型投信／内外／資産複合

当初設定日：2017年3月13日
作成基準日：2026年9月30日

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。 （基準価額は1万口当たりで表示しています。）
換金単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時30分までに販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分とします。 なお、販売会社によっては対応が異なる場合がありますので、詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入・換金申込受付不可日	申込日当日が次のいずれかの場合は、購入・換金のお申込みを受け付けないものとします。 ニューヨーク証券取引所の休業日 ロンドン証券取引所の休業日 ニューヨークの銀行休業日 ロンドンの銀行休業日
換金制限	ファンドの規模および商品性格などにもとづき、運用上の支障をきたさないようにするため、大口の換金には受付時間および金額の制限をおこなう場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。
信託期間	無期限 （2017年3月13日設定）
繰上償還	次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了（繰上償還）させることができます。 ・受益権の口数が30億口を下回ることとなった場合 ・ファンドを償還することが受益者のために有利であると認める場合 ・やむを得ない事情が発生した場合
決算日	毎年5月と11月の各15日（休業日の場合は翌営業日）です。
収益分配	年2回、毎決算時に原則として収益分配をおこなう方針です。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度（NISA）の適用対象となります。ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 なお、配当控除あるいは益金不算入制度の適用はありません。

ファンドの費用

《投資者が直接的に負担する費用》

■ 購入時手数料

購入申込受付日の翌々営業日の基準価額に**3.3%（税抜3.0%）を上限**として販売会社が定める率を乗じて得た額とします。
詳しくは販売会社にお問い合わせください。

■ 信託財産留保額

ありません。

《投資者が信託財産で間接的に負担する費用》

■ 運用管理費用（信託報酬）

・当ファンド：純資産総額に対して年率0.968%（税抜0.88%）

・投資対象とする投資信託証券：純資産総額に対して年率0.430%以内（税込）

・実質的な負担：純資産総額に対して**年率1.398%以内（税込）**
※この値は目安であり、投資信託証券の実際の組入れ状況により変動します。

■ その他の費用・手数料

有価証券の売買・保管、信託事務にかかる諸費用、投資対象ファンドの解約にともなう信託財産留保額等をその都度、監査費用を日々、ファンドが負担します（投資対象ファンドにおいて負担する場合を含みます。）。これらの費用は、運用状況等により変動するなどの理由により、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。また、上場投資信託は市場の需給により価格形成されるため、上場投資信託の費用は表示しておりません。

※ 詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「お申込みメモ」、「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

＜当資料の取扱いに関する留意事項＞を必ずお読みください。

ブレンドシックス
追加型投信／内外／資産複合

当初設定日：2017年3月13日
作成基準日：2026年9月30日

委託会社・その他の関係法人の概要

● 委託会社　スカイオーシャン・アセットマネジメント株式会社（ファンドの運用の指図をおこなう者）
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第2831号
加　入　協　会　：一般社団法人資産運用業協会
ホームページ　：https://www.soam.co.jp/
サポートデスク　：045-225-1651　受付時間 9:00～17:00 [土日・祝日等は除く]

● 受託会社　三井住友信託銀行株式会社（ファンドの財産の保管および管理をおこなう者）

販売会社

商号等		登録番号	加入協会
京銀証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第392号	日本証券業協会
株式会社京都銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第10号	日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会
株式会社京都銀行 （委託金融商品取引業者　京銀証券株式会社）	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第10号	日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会
株式会社きらぼし銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第53号	日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会
株式会社きらぼし銀行 （委託金融商品取引業者　きらぼしライフデザイン証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第53号	日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会
きらぼしライフデザイン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3198号	日本証券業協会
株式会社群馬銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第46号	日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第1977号	日本証券業協会
株式会社UI銀行 （委託金融商品取引業者　きらぼしライフデザイン証券株式会社）（オンラインサービス専用）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第673号	日本証券業協会
株式会社横浜銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第36号	日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会

・お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、販売会社へお申出ください。
・販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によっては、新規のお申込みを停止している場合があります。

＜当資料の取扱いに関する留意事項＞

◆ 当資料はスカイオーシャン・アセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法にもとづく開示書類ではありません。
◆ ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
◆ 投資信託は値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクをともないます。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。
◆ 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外で購入された場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
◆ 当資料は信頼できると判断した各種情報等にもとづき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
◆ 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータにもとづき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により運用方針等が変更される場合があります。

ブレンドシックス
追加型投信／内外／資産複合

当初設定日：2017年3月13日
作成基準日：2026年9月30日

投資信託約款の変更について

当ファンドにつきましては、2026年8月27日現在の受益者の方を対象に、投資信託約款（以下、「約款」といいます。）の変更に係る書面決議を2026年10月8日付でおこないました。その結果、議決権を行使することが出来る受益者の方の議決権の3分の2以上の賛成を得たことにより、以下の通り約款の変更をおこなうこととなりましたので、お知らせいたします。

なお、約款の変更適用日である2027年1月18日付をもって当ファンドの委託者を「スカイオーシャン・アセットマネジメント株式会社」から「三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社」へ変更することとなりました。当ファンドの2027年1月18日以降の有価証券届出書の内容は同日を効力発生日として「三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社」より提出される有価証券届出書にてご確認ください。

1. 約款変更の内容および理由

当ファンドの委託者である弊社は2027年3月末を目途に業務を終了することを予定しているため、委託者を「スカイオーシャン・アセットマネジメント株式会社」から「三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社」に変更し運用を継続することが受益者の皆様の利益に資すると判断し、この度、約款変更をおこなうこととなりました。

変更後に委託者となる三井住友トラスト・アセットマネジメントの概要は以下の通りです。

> 三井住友トラスト・アセットマネジメントは、日本で屈指の機関投資家である三井住友トラストグループの資産運用ビジネスの中核をなす運用会社です。2018 年 10 月 1 日に三井住友信託銀行の資産運用事業を統合し、運用資産残高が約 111 兆円規模の日本およびアジアで最大級の運用会社となりました。
> 所在地：東京都港区芝公園一丁目 1 番 1 号
> 資本金：20 億円、役職員数：714 名
>
> ※2026 年 3 月末現在

これに伴い、当ファンドの委託者が行なう公告の方法も変更いたします。

※詳細は、後記「投資信託約款の変更に係る新旧対照表」をご参照ください。

2. 約款変更日および変更適用日

2026 年 10 月 10 日付で実施し、2027 年 1 月 18 日より適用します。

投資信託約款の変更について

「投資信託約款の変更に係る新旧対照表」

変更日:2026 年 10 月 10 日　変更適用日:2027 年 1 月 18 日

新	旧
（信託の種類、委託者及び受託者） 第 1 条　この信託は、証券投資信託であり、三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社を委託者とし、三井住友信託銀行株式会社を受託者とします。 ②（省　略）	（信託の種類、委託者及び受託者） 第 1 条　この信託は、証券投資信託であり、スカイオーシャン・アセットマネジメント株式会社を委託者とし、三井住友信託銀行株式会社を受託者とします。 ②（同　左）
（公告） 第 50 条　委託者が受益者に対してする公告は、日本経済新聞に掲載します。 ②（削除）	（公告） 第 50 条　委託者が受益者に対してする公告は、電子公告の方法により行ない、次のアドレスに掲載します。 https://www.soam.co.jp/ ②前項の電子公告による公告をすることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合の公告は、日本経済新聞に掲載します。